

島建 2014 Vol.131 会報



島根県建設業協会館新築工事の安全祈願祭

② 平成26年度 通常総会／通常代議員会
建設業協会、技士会、建産連、青年部会、農林連合会

⑤ 建設業協会
島根県建設業協会将来ビジョンについて
新建設業協会館が起工
会員現状調査の公表
(一社)鹿足建設業協会が加入
委員会

⑨ 技士会
現場見学会のご案内

⑨ 建災防島根県支部
労働災害防止喚起

⑩ DCプラン
マッチング拠出制度

⑪ 平成26年度 今後の事業予定

⑫ 活動だより

⑬ 建退共島根県支部
平成25年度事業報告
「Q & A」
退職金約款の改正

一般社団法人 島根県建設業協会

松江市西嫁島1丁目3番17-101号 TEL 0852(21)9004 FAX 0852(31)2166

平成26年7月1日発行

平成26年度 通常総会



中筋会長を再任

「地域とともに、地域のために」

ビジョン示す

5月23日、定時総会を開き、13年度収支決算、14年度事業計画・予算を承認。任期満了に伴う役員改選で、中筋豊通会長（出雲地区建協会長）の再任をはじめ新役員と協議員を選任した。

中筋会長はあいさつの中で、協会の将来ビジョン①基幹産業として地域を支える②危機管理産業として地域を守る③誇れる産業を目指し自己研鑽一を示し、地域の安全・安心と経済を支える建設産業の確立へ協力を呼び掛けた。



新役員

▷会長

中筋 豊通（出雲地区協会長）

▷副会長

渡辺 栄三（隠岐地区協会長）

金津 任紀（松江地区協会長）

室谷 卓治（浜田地区協会長）

▷理事

神庭 民生（松江）

古藤 年雄（松江）

平井 幸範（安来地区協会長）

中田 孝幸（安来）

植田 耕志（雲南地区協会長）

梅木 秀昭（雲南）

福岡 久八（仁多地区協会長）

中村 勝好（仁多）

今岡 余一良（出雲）

長岡 秀治（出雲）

波多野 諭（大田地区協会長）

堀 博彦（大田）

福井 竜夫（邑智地区協会長）

浜 慎一（邑智）

河野 博（浜田）

野村 喜代志（益田地区協会長）

宮地 正浩（益田）

中谷 保宣（鹿足地区協会長・新）

三浦 浩（鹿足・新）

竹田 二鎬（隠岐・新）

▷監事

都間 正隆（雲南）

田原 裕司（大田・新）

上原 謙二（邑智・新）

▷専務理事

玉串 昭

▷常務理事

辻 友博

26年度 全建表彰受賞者

【第2条】役員

山下安夫（山下工務所・出雲） 日野敏夫（日野建設・雲南）

【第4条】企業

佐々木興産（松江） 都間土建（雲南） 内田工務店（仁多） 岩崎建設（出雲）

大一建設（大田） 和田組（邑智） 阿郷建設（浜田）

【第5条】個人

糸川信幸（佐藤組・松江） 吉田昇（平井建設・安来） 山根隆（梅木建設・雲南） 恩村章文（内藤組・出雲）

石田幹夫（稗田産業・大田） 荒田栄（西村土木・邑智） 脇文定（徳畑建設・隠岐）

通常代議員会



長岡会長を再任

県土木施工管理技士会は5月21日、通常代議員会を開催。役員改選で長岡秀治会長（出雲支部）の再任をはじめ、新役員を選出した。

..... 新 役 員

- ▷会長
長岡 秀治(出雲支部)
- ▷副会長
中田 孝幸(安来支部) 原 諭(浜田支部)
堀江 洋一(松江支部) 福井 竜夫(邑智支部・新)
- ▷理事
吉岡 直樹(松江支部) 永島 隆哉(安来支部) 日野 敏夫(雲南支部)
香川 昇司(雲南支部) 佐藤 和彦(仁多支部・新) 大谷 誠二(仁多支部・新)
梶野 直宏(出雲支部・新) 堀 博彦(大田支部) 黒田 突義(大田支部・新)
小畑 亮二(邑智支部) 今井 久晴(浜田支部) 野村 喜代志(益田支部)
高橋 宏聡(益田支部・新) 堀 邦至(鹿足支部) 三浦 浩(鹿足支部)
稲葉 良一(隠岐支部) 徳畑 信夫(隠岐支部・新)
- ▷監事
中筋 廣昭(松江支部) 毛利 栄就(浜田支部)
- ▷専務理事
玉串 昭(建協会)

一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会表彰

日野敏夫（日野建設） 中田孝幸（中田建設）
後藤吉伸（常松土建） 町田公平（町田土建）
新田敏文（サンクラフト）
辻友博（本部事務局）

島根県土木施工管理技士会会長表彰

土江友也（カナツ技建工業） 安達晃介（豊洋）
岩崎和久（平井建設） 森山貴博（福岡工務店）
福間純（中筋組） 渡部義孝（ダイニ）
岩谷功（堀工務店） 竹田順治（河野建設）
滝本翼（徳畑建設）

建産連

共通の課題集約、要望活動に重点

県建設産業団体連合会（建産連、会長・中筋豊通県建設業協会長、15団体）は6月6日、通常総会を開催。13年度決算、14年度事業計画・予算を承認した。

全国建産連の将来ビジョン①各業種間の連携強調②適正な建設生産システムの構築③中小建設産業の育成・強化一に基づき、総合工事業や専門工事業、建設関連業が共通の課題について意見集約し、業界の声を行政に届ける活動に重点的に取り組むことを申し合わせた。また、本年度に建て替えられる県建設業会館の敷地内に、災害用品備蓄倉庫を設置することを決めた。



平成26年度 通常総会／通常代議員会

青年 部会

青年部会は6月9日、通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で新部会長に柁野直宏氏（トガノ建設）を選任した。

14年度事業計画では、建設産業のイメージアップや魅力発信に向けた活動を通して若年者の入職を働き掛けるほか、新ビジネスや経営改善の研修など取り組む。

新部会長に柁野氏 （トガノ建設）



新 役 員

- ▷部会長 柁野 直宏（トガノ建設・出雲）
- ▷副部会長 木村 直樹（豊洋・松江） 伊原 憲吾（伊原組・浜田）
- ▷運営専務 荒木 克之（昭和開発工業・出雲）
- ▷幹事長 波多野 圭（はたの産業・大田）
- ▷幹事

金見 誠司（金見工務店・松江）	松浦 健吉（まるなか建設・松江）	金山 英之（大前組・松江）
岩崎 正紀（伯水工務店・安来）	常松 征二（常松土建・雲南）	森島 拓也（森島建設・雲南）
伊藤 正憲（伊藤土建・仁多）	今岡 幹晴（今岡工業・出雲）	内藤 正和（内藤組・出雲）
佐藤 精一（佐藤組・出雲）	黒田 基次（山崎組・大田）	岡山 勝樹（岡山産業・邑智）
町田 公平（町田土建・邑智）	教重 智文（三木工務店・浜田）	岡田 誠（岡田建設・浜田）
室谷 文読（江津土建・浜田）		
- ▷監事 高橋 宏聡（高橋建設・益田） 竹田 栄人（竹田組・隠岐）

農林 連合会

中筋会長を再任

県農林建設業協会連合会は、5月23日、通常総会を開催。役員改選では中筋豊通会長（出雲）の再選をはじめ、新役員を選出した。

また、昨年度の農林土木関係予算や技術関係について事業報告。今年度の事業計画では、農林土木事業費の確保および経営向上のための陳情要望を関係機関に行い、協会員等の経営基盤の強化を図ることなどを承認した。

新 役 員

- ▷会 長 中筋 豊通（出雲）
- ▷副会長 渡辺 栄三（隠岐） 室谷 卓治（浜田）
- ▷理 事 金津 任紀（松江） 平井 幸範（安来） 植田 耕志（雲南） 福間 久八（仁多）
- 波多野 諭（大田） 福井 竜夫（邑智） 宮地 正浩（益田・新）
- ▷監 事 都間 正隆（雲南） 田原 裕司（大田・新） 上原 謙二（邑智・新）
- ▷常務理事 辻 友博（県農林建設業協会連合会）

協会からのお知らせ

島根県建設業協会将来ビジョンについて

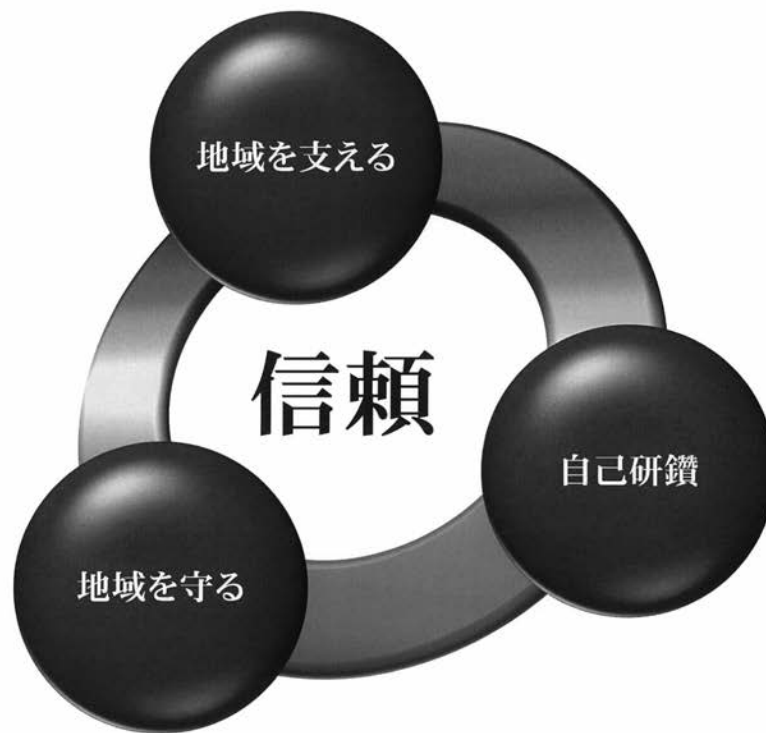
定時総会にて将来ビジョンを発表しました。

「地域とともに、地域のために」の理念のもと、地域社会のリーダーとして①基幹産業として地域を支え②危機管理産業として地域を守り③誇れる産業を目指し自己研鑽し、地域から信頼される協会を目指します。

平成26年度

地域とともに、地域のために

～使命を果たし、信頼される協会へ～



地域社会のリーダーとして

基幹産業として 地域を支える	危機管理産業として 地域を守る	誇れる産業を目指し 自己研鑽
<ul style="list-style-type: none"> ○地域経済発展の牽引者 ○夢ある街創りへの提言・参画 ○安心安全な県土の整備促進 ○雇用の確保、人材の育成 ○社会貢献活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災・減災対策 ○社会インフラの老朽化対策 ○災害時の応急復旧活動 ○防疫対応 ○除雪対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○経営力・技術力の強化 ○協会組織力・情報力の強化 ○労働災害・交通災害の絶滅 ○建設産業界の連携と発展 ○戦略的な広報・P R 活動

建設業協会

新建設業会館 起工

12月完成へ安全祈願

建設業会館新築工事の安全祈願祭が6月25日、会館敷地内で行われ、中筋豊通県建設業協会会長、金津任紀松江地区建設業協会会長はじめ協会関係者や工事関係者ら20人が出席。神事を執り行い、工事の安全を祈った。

新しい建設業会館はS 2 F（一部3 F）676㎡で現会館の北側駐車場に建築する。建設業協会本部のほか、松江地区建協、松江市建協、西日本建設業保証が入居し、12月完成の予定。施工は松江土建。来春までに旧会館を解体撤去し、駐車場を整備する。総事業費2億円。

島根県建設業会館の新築工事の安全祈願祭で鍬入れする中筋豊通会長



R C 6 Fの現会館は1980年に建てられ、老朽化による痛みが激しく、耐震補強が必要となっていた。

会員現状調査を公表しました

平成23年度から、業界の現状把握と今後の要望活動や意見交換会等の協会運営のための参考資料とすることを目的に年末から年始にかけて、「会員現状調査」を実施しています。

平成24年度からは、「新規正社員の採用状況」、「社会保険の未加入問題」、「会員企業の広報活動・P R活動」の質問を追加し、

平成25年度は「適切な賃金水準の確保への取組み」や「技術者・技能者の不足状況」等を新たに追加し、調査内容の充実を図ってまいりました。

会員企業の皆様には年末年始のお忙しい中、調査にご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

また、調査結果は、当協会ホームページにて掲載していますので、是非ともご活用ください。



平成25年12月理事会の決議を経て、本年4月より鹿足地区協会（一社）鹿足建設業協会が加入されました。名称・住所等左記のとおりとなります。

（一社）鹿足建設業協会が加入

一般社団法人 鹿足建設業協会

会長 中谷 保宣

住所 699-5604 鹿足郡津和野町森村イ511-1

TEL 0856-72-2030 (FAX兼用)

会員数 18社

委員会

【土木・建築・労働委員会】

各委員会は、平成25年度は2回の委員会を開催し、これまで委員会にて取りまとめた様々な事項を提案議題と要望事項とに整理をし、その内容について島根県担当者との意見交換会を行いました。

【土木委員会】

1. 地域を守る建設業者存続のために

- ①施工体制確認型の入札制度について **提案議題**
 - ②地域密着型の積極的活用について **提案議題**
 - ③総合評価落札方式の見直しについて **要望事項**
 - ④入札制度契約にかかる事項 **要望事項**
 - ⑤残土処理場について
 - ・残土処理場の確保について **提案議題**
 - ・残土処理場の費用計上について **要望事項**
 - ⑥提出書類の簡素化について
 - ・契約時の請負代金内訳書及び工程表の提出について **要望事項**
 - ・島根県公共工事共通仕様書 特記事項について **要望事項**
 - ⑦低入札関連について **提案議題**
 - ⑧受注機会の拡大について **提案議題**
 - ⑨入札時の見積資料について **要望事項**
 - ⑩イメージアップ費の設計計上について **要望事項**
- #### 2. 円滑な設計変更対応について
- ①"創意工夫"の適切な取扱いについて **提案議題**
 - ②設計図書の照査に関して **提案議題**
 - ③「ワンデーレスポンス」の促進及び強化について **提案議題**
 - ④三方良しの公共事業への取り組みについて **提案議題**
 - ⑤支障物件の速やかな移転について **要望事項**

3. 労務単価の設定方法について

- ①市場単価について **要望事項**
- ②交通誘導員の単価について **要望事項**

4. その他

- ①平成25年災害復旧工事に係る規制の緩和について **提案議題**



- ②公共工事発注の平準化ができる環境整備について **提案議題**
- ③建設技術者不足や労働者不足の問題について **要望事項**
- ④施工計画書への記載方法について **要望事項**
- ⑤土木工法技術の進歩向上について **要望事項**
- ⑥産廃処理料金について **要望事項**
- ⑦施工パッケージ型積算方式移行歩掛との関連した積算関係について
 - ・砂防工事における埋め戻し歩掛り **要望事項**
 - ・砂防堰堤間詰ブロック積（張）工について **要望事項**
 - ・積算の施工単価について **要望事項**
- ⑧その他積算関係
 - ・特殊工事の設計・施工費用について **提案議題**
 - ・積算の考え方について **要望事項**
 - ・仮橋・仮栈橋や作業構台等の鋼材の損料について **要望事項**
 - ・資材単価（重圧管・ヒューム管等）の適正な単価設定について **要望事項**
 - ・港湾工事の石材（捨石、被覆石等）の設計単価について **要望事項**
 - ・河川工事等において仮設工の締切排水工（水替工）で水替ポンプ運転の作業時排水が常時排水の適用区分について **要望事項**
 - ・トレーラーが乗入れ出来ない場合の自走重機運搬費積算の明確化について **要望事項**
 - ・運搬費等の積算における離島の特殊性に関して **要望事項**

【建築委員会】

1. 地域を守る建設業者存続のために

- ①小規模改修工事に於ける実施設計から工事完成の事業計画を単年度から複数年度に変更願いたい **提案議題**
- ②専門工事の設計積算について **提案議題**
- ③入札参加資格申請時の実績緩和について **提案議題**
- ④県内産の優先使用について
 - ・地元建築業者の育成、保護について **提案議題**
 - ・県内産木材について **提案議題**

・県内産木材・地場産木材の利用促進に伴う環境保全と工程管理について **提案議題**

2. 円滑な設計変更対応について

- ①参考契約数量の責任数量化について
 - ・参考契約数量と設計変更について **提案議題**
 - ・建築公共工事における、参考数量内訳書の明確化について **提案議題**
 - ・積算項目に無いもの等の適切な取り扱いについて **提案議題**
- ②設計成果品への対応について
 - ・入札時における積算図面及び数量表と現場における図面の食い違い及び数量の相違について **提案議題**
 - ・設備工事における図面の食い違いについて **提案議題**

③現場監理について **提案議題**

3. その他

- ①工事発注時期などの平準化を図っていただきたい **提案議題**
- ②完成現場検査の評価方針を一考願いたい **提案議題**
- ③施工規模による市場単価の採用について **提案議題**



④離島での運搬経費を含む適正な価格の積算について **提案議題**

⑤R C造の建物におけるコンクリート打ち放し仕上げについて **提案議題**

【労働委員会】

1. 人材の確保・育成について

- ①若者にとって魅力がある業界づくり **提案議題**
- ②若手人材の確保について **提案議題**

2. 労務単価の引上げについて

- ①人材確保のための労務費の向上について **提案議題**
- ②人材の確保・育成に関する事項 **提案議題**
- ③労務費調査のあり方について（新しい労務費調査方法の研究） **提案議題**

3. 新たな広報活動の模索

- ①戦略的な広報活動について **提案議題**
- ②建設業のイメージアップについて **提案議題**

4. その他

- ①労働災害について 熱中症の労災適用の別枠制度について **提案議題**
- ②会員間、地区協会間の連携強化について **提案議題**



平成26・27年度各委員会 委員について

新しい平成26・27年度の各委員のメンバーにつきましては、下記のとおりとなりました。（委員長◎ 副委員長○）

	総務運営委員 (地区協会長)	土木委員	建築委員	労働委員
理事	———	◎ 長岡 秀治	◎ 今岡 余一良	◎ 神庭 民生
		○ 宮地 正浩	○ 古藤 年雄	○ 中田 孝幸
		浜 慎一	梅木 秀昭	中村 勝好
		三浦 浩	河野 博	堀 博彦
			竹田 二鎬	
松江	金津 任紀	吉岡 直樹	原田 正治	佐藤 尚士
安来	平井 幸範	松原 一夫	木下 聡	永島 隆哉
雲南	植田 耕志	山根 英利	岡田 治一	横山 真治
仁多	福間 久八	佐藤 和彦	糸賀 寿夫	大谷 誠二
出雲	◎ 中筋 豊通	北村 広	金築 邦彦	福代 明正
大田	波多野 諭	植田 達喜	神門 敦	黒田 突義
邑智	福井 竜夫	上原 謙二	河野 勝信	小畑 亮二
浜田	室谷 卓治	原 諭	中山 善之	今井 久師
益田	野村 喜代志	草野 一三	植木 誠	澄川 邦男
鹿足	中谷 保宣	栗栖 厚公	堀 善彰	村上 英司
隠岐	○ 渡辺 栄三	竹田 栄人	森 政美	野村 吉秀

技士会



現場見学会を開催します！

前回に引き続き県西部で開催

実施計画

日時 平成26年9月9日(火)
 見学場所 山陰道(仁摩～湯里間)及び江津工業団地の太陽光発電施設
 高野山風力発電施設等
 参加者 島根県土木施工管理技士会会員 100名程度

行程等

10:50 島根県石中央地域地場産業振興センター(江津市嘉久志町)集合
 11:00～12:00 会長挨拶、松江国道事務所及び企業局より事業概要説明
 12:00～12:40 昼食、休憩
 13:00～14:15 山陰道(仁摩～湯里間)
 14:30～16:00 江津工業団地の太陽光発電施設、高野山風力発電施設等
 16:00 解散



建災防島根県支部

労働災害防止に努めましょう

今年度も前半が終了しました。災害防止に熱心に取り組んでおられると思いますが、残念ながら島根県下ですでに4件の死亡災害が発生しております。昨年1年間の死亡災害に並びました。これから工事が繁忙することが懸念されますので、会社を上げての労働災害防止が急務となります。

建災防島根県支部では、6月から7月にかけて県下の現場を発注機関、労働基準監督署、建災防安全指導員により特別安全パトロールを実施。特に、左記の3項目を重点に実施。

①元請がリスクアセスメントを実施しているか
 ②建設業三大災害(墜落、転落・建設機械、クレーン災害・崩壊・倒壊災害)の防止に取り組んでいるか
 ③見える化(現場で安全標識の設置)

【主な良好事項】

●安全衛生管理計画書を事務所に掲示●現場でKYを実施し、一人一人が発表する●ホワイトボードを活用したリスクアセスメントを実施●専任の合図者を配置し適格な誘導を実施

【主な改善事項】

●災害防止協議会の記録を整備する●作業手順書にリスクアセスメントを取り入れていない●ブロック積み工事で昇降設備が未設置●安全標識を掲示されていない●トラロープで立ち入り禁止措置

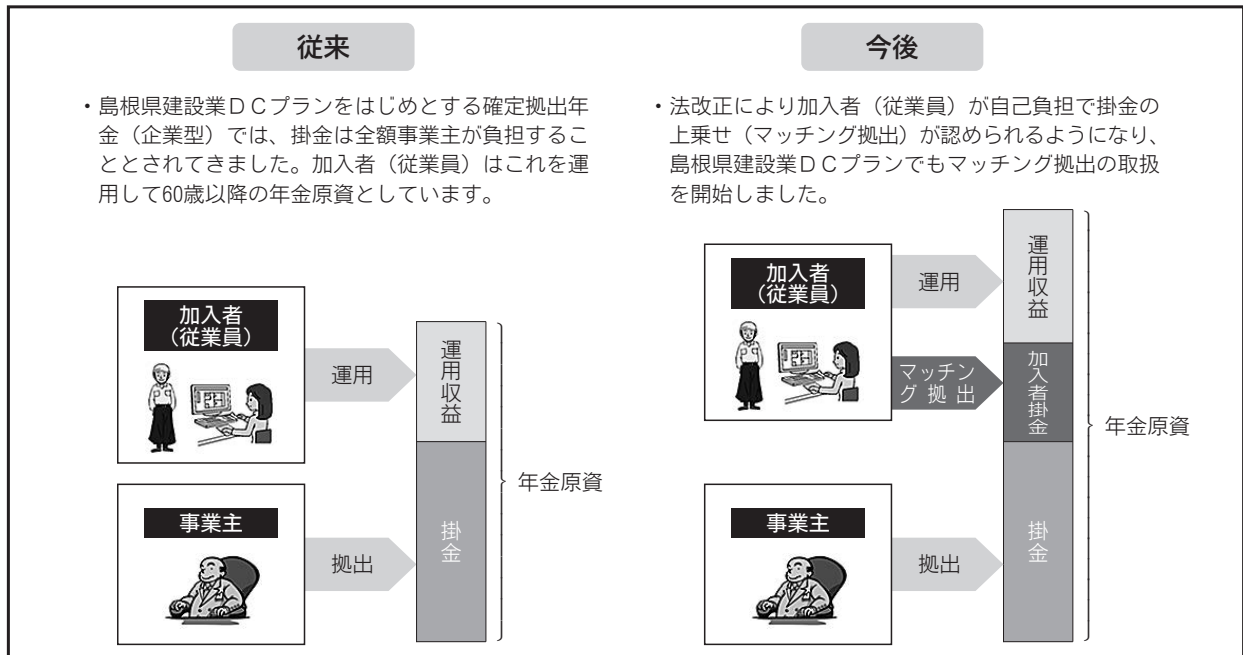


D・Cプラン

マッチング拠出制度について

平成17年3月にスタートした島根県建設業協会の確定拠出年金制度（島根県建設業D・Cプラン企業型年金規約）は、現在8年が経過し、加入事業所が90社、加入者が約2,000人の規模となっているところですが、この確定拠出年金制度において、年金確保支援法（平成23年8月交付）の制定により、大幅な改正が行われました。

その中でも、改正の目玉の一つである「従業員拠出（マッチング拠出）の解禁」について平成24年度から対応を始めました。



マッチング拠出制度は、加入者（従業員）にとって税制優遇等メリットも大きく、加入各社においても検討・制度導入が進められているところです（制度導入済16社）。

（参考）確定拠出年金の税制

マッチング拠出による加入者掛金は全額非課税となります。

運用時・給付時の課税はマッチング拠出による上乗せ分も含めて従来どおりの優遇措置があります。

拠出時	事業主掛金	全額損金算入、かつ給与所得とみなされない
	加入者掛金	全額所得控除（小規模企業共済等掛金控除適用）
運用時		運用益非課税 年金資産に特別法人税・特別住民税課税（平成11年4月から凍結中）
給付時		給付の種類によって課税 <ul style="list-style-type: none"> ■ 老齢給付金：年金…雑所得（公的年金等控除適用） 一時金…退職所得（退職所得控除適用）* ■ 障害給付金：年金・一時金とも所得税・住民税非課税 ■ 死亡一時金：「みなし相続財産」として相続税課税（法定相続人1人当たり500万円まで非課税） ■ 脱退一時金：一時所得として所得税・住民税課税

平成26年度 事業予定

島根県
建設業協会

建災防
島根県支部

島根県
土木施工管理技士会

島根県農林
建設業協会連合会

7

●9 (水)、10 (木)
建設業経理検定試験受
験準備講習会 2 級
●16 (水)
(一社)全国建設業協会
との意見交換会

●県土特別安全パト
ロール結果報告会、安
全指導者研修会
(台風のため、8月以
降に延期)

8

●22 (金)
島根県建設産業人材確
保・育成推進協議会
●26 (火)
島根県土木部・総務部
営繕課との意見交換会
●27 (水)
国土交通省中国地方整
備局との意見交換会

●4 (月)
中国土木施工管理技士
会連合会通常総会 (広
島市)

9

●24 (水)
創立50周年記念全国建
設業労働災害防止大会
総合集会 (東京都)

●9 (火)
現場見学会

10

●22 (水)
中国ブロック地域懇談
会
平成26年度建設業協会
中国ブロック協議会意
見交換会 (鳥取市)
●10~11月
高校生の現場見学会



11

12

●12~3月
土木・建築・労働委員会

●安全祈願祭

●支部長会議

1

2

3



●理事会
●研修会

活動だより



建設産業魅力発信研究会を立上げ

業界の担い手確保へ



県土木部は5月28日、「建設産業魅力発信等研究会」を立ち上げた。業界の担い手確保に向け、若年労働者の入職と定着、建設産業

のイメージアップ・魅力発信などに取り組む。

同研究会は県職員5人、業界企業の役職員4人の計9人で構成。若手や女性技術者らを中心に構成し、県職員は部内で募集した職員の中から選んだ。

建設業をめぐるのは、全国的に若年労働者の減少が顕在化。県によると、県内の建設業就業者数（年齢階層別）のうち、15—24歳は2000年に4759人（構



成比9.6%)だったのが、10年には1369人(同4.1%)にまで減少。

これらの状況を待たなしの課題として捉え、同研究会では県と業界が対等な立場で課題解決に向けた取り組みを検討。月に1回程度のペースで会を重ね、早ければ本年度後半から具体的な活動に入っていくという。



出雲に備蓄倉庫設置

県内各地に順次拡大

県建設産業団体連合会（中筋豊通会長、正会員15団体）は3月31日、出雲建設会館敷地内に「災害用品備蓄倉庫」を設置した。

県内初で、今後も各地に順次拡大。災害時に国や県等から要請があれば、各地区建協が中心となって物品調達する。今回は20型ユニットハウス1棟を設置し、大型土のう袋500枚、土のう袋1000枚、ブルーシート500枚、折畳式水タンク200個を収納した。



所、半田組

表彰式では、栗田悟局長から感謝状が贈られた。県関係の受賞団体は左記の通り。
大畑建設、江津土建、高橋建設、永井建設、原工務

45団体に感謝状

島根、山口豪雨災害対応活動など

中国地方整備局は、2月17日、昨年夏の島根、山口豪雨などの災害対応活動における協力・支援等で顕著な実績があった45団体を「災害対策関係功労者」として表彰した。

整備局

家畜伝染病防疫対応^{など}安全研修



建災防松江分会（金津任紀分会長）は3月6日、家畜伝染病防疫対応と建設現場の安全管理に関する研修会を開き、70人が参加した。

松江県土整備事務所農林工務部の岡村健司農村整備課長が、家畜伝染病防疫措置に係る焼埋却処分に

ついて、準備作業や焼却炉の設置、家きん死体と汚染物品の運搬・投入、消石灰の散布など焼却作業の流れ、埋却処分業務の内容等を説明した。

また、松江労基署の内久保康孝安全衛生課長は、労働災害と安全活動の関係について解説。不安全行動の排除や、作業手順書の作成段階におけるRKYの重要性を指導した。

建退共島根県支部

平成25年度事業報告

・島根県支部業務状況

処理件数

	新規加入 (契約申込)数	新規手帳 申込数	手帳更新 申請数	退職金 請求数	加入・履行 証明数
平成23年度	52	853	8,373	823	811
平成24年度	63	781	8,165	828	823
平成25年度	24	872	8,164	655	788

現況

	共済契約者 (加入事業所)数	被共済者 (労働者)数
平成24年3月末	1,349	28,069
平成25年3月末	1,310	28,230



ご質問にお答えします



消印の日付はいつ付けにすれば良いですか、毎月まとめて消印しても良いですか。



消印は、どのようなものを使用したら良いですか。



中退法では、「共済契約者に賃金を支払うつと、被共済者が提出する共済手帳に掛金の日額にその者を雇用した日数を乗じて得た金額に相当する額の退職金共済証紙を貼りつけ、これに消印することによって掛金を納付しなければならない。」とされております。

例えば、月末に一括して証紙を貼り消印する場合はその日となりますので、毎月分まとめて貼り消印しても問題ありません。

なお、この取り扱いは、1日券でも10日券でも同じです。



消印については、被共済者が納付状況を確認できるように事業所名と日付を押印することになっており、事務効率の観点から契約者名の入ったスタンプ等を使用するよう要請していますが、できるだけ個人印は使用せず、会社名と日付がわかる印（ゴム印等）を使用するようにして下さい。

建退共からのお知らせ

建設業退職金共済約款の改正について

「独立行政法人勤労者退職金共済機構反社会的勢力に対する基本方針」（平成25年12月12日）及び「独立行政法人勤労者退職金共済機構反社会的勢力対応規程」（平成25年12月12日）に基づき、建設業退職金共済約款の改正を行う。

1. 趣旨

建設業退職金共済制度において反社会的勢力との一切の関係を排除するため、規定を整備する。

2. 改正内容

(1) 退職金共済契約の締結（第1条関係）

反社会的勢力対応規程に定めるところにより、退職金共済契約の申込みの際に書面による「反社会的勢力を排除する条項」への同意を求めるものとし、同意が得られない場合は退職金共済契約を締結しない。

（共済契約申込書の様式変更）

※退職金共済契約の申込者に対して共済契約の申込みの際に書面による「反社会的勢力を排除する条項」（相手方に、現在及び将来において反社会的勢力に該当しないことを表明及び確約させ、相手方が反社会的勢力であることが判明した場合に、無催告で契約を解除する条項）への同意を求めるものとし、同意が得られない場合は共済契約を締結しない（反社会的勢力対応規程第4条）。

(2) 退職金共済契約の解除（第17条関係）

共済契約者が上記(1)の条項に同意したにもかかわらず、その後、反社会的勢力であることが判明した場合又は暴力的な要求行為等をした場合は、機構は退職金共済契約を解除する。

(3) 共済証紙の買戻しの特例（第9条関係）

上記(2)により退職金共済契約が解除された共済契約者は、共済証紙の買戻しを申し出ることができない。

3. 改正日

平成26年7月1日

（公財）建設業福祉共済団からのお知らせ

育英奨学金前期分25,968,000円 220名に給付!!

前期分220名に給付

共済団は6月20日、平成26年度の育英奨学金の前期分（平成26年4月～9月まで）として要保育児10名、小学生60名、中学生47名、高校生61名、大学生等42名の計220名に対し25,968,000円を給付しました。

また、その内当団の東日本大震災の支援金を支給された方の子10名（小学生1名、中学生3名、高校生2名、大学生等4名）も対象として、1,512,000円を給付しました。

育英奨学金制度とは

この制度は、「社会有用の人材育成を通じ建設業の発展に資すること」を目的として昭和60年から実施され、現在までに奨学生の延べ人数は7,315人、累計給付額は13億4,098万円余となっています。

奨学金は、業務災害または通勤災害により、死亡、身体障害1～3級、傷病1～3級に該当し、建設共済保険の保険金支払い対象となった被災者の子に対して給付されるもので、保育期間および小学校から大学までの在学期間中、継続して給付しています。

なお、**共済団の奨学金制度は他の奨学金制度との併用も可能で、返済は不要**です。

◎給付額は以下のとおりです。

	要保育児	小学生	中学生	高校生	大学生等
月額	12,000円	12,000円	16,000円	18,000円	39,000円
年額	144,000円	144,000円	192,000円	216,000円	468,000円

◎要保育児および奨学生の対象であるにもかかわらず手続きがお済みでない場合は、随時受付けておりますので共済団までご連絡下さい。

資料請求や保険料試算もできます。ご利用ください。

URL→<http://www.kyousaidan.or.jp/>

◎お問い合わせは、下記までご連絡ください。

（公財）建設業福祉共済団 TEL（03）3591-8451

保険料が**安い** 補償が**厚い**
支払いが**速い**

法定外労災補償制度

建設共済**保**險

更にリフレッシュして充実した制度になりました

完成工事高契約会員加入状況 平成28年6月30日現在

地区	加入企業 (会員)	会 加入率(%)	地区	加入企業 (会員)	会 加入率(%)
松江	56	86.2	邑智	24	57.1
安来	19	100.0	浜田	20	34.5
雲南	48	96.0	益田	4	14.8
仁多	16	94.1	鹿足	7	38.9
出雲	56	66.7	隠岐	22	62.9
大田	12	35.3	合計	284	63.3

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-15 虎ノ門NSビル

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業 被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

取扱機関 (一社)島根県建設業協会 〒690-0048 松江市西塚島1-3-17-101 TEL.0852-21-9004 FAX.0852-31-2166

詳しい情報、保険料試算などの
お問い合わせは

Tel. 03-3591-8451

http://www.kyousaidan.or.jp/